

# まちのスケッチブック

夢をかたちに…あたらしいまちづくり

VOL.23

財政非常  
事態宣言

ちよまつ ひろやす  
泉佐野市議会議員 **千代松 大耕** (30歳)

(表1) 平成16年度一般会計歳出予算

議会費	3億	589万円
総務費	31億4,	157万円
民生費	109億3,	029万円
衛生費	34億8,	952万円
労働費	2,	537万円
農林水産費	1億6,	183万円
商工費	9,	835万円
土木費	44億4,	853万円
消防費	12億6,	085万円
教育費	25億8,	614万円
公債費(借入金)	82億1,	037万円
諸支出金	5,	323万円
累積赤字額	35億	円
予備費		500万円
歳出合計	382億1,	693万円

平成16年度の当初予算を審議する3月議会におきまして、泉佐野市は新田谷市長から「財政非常事態宣言」が出されました。2月に市長選挙がありましたので、今回議会に上程された予算(表1)は基本的に年度中に渡って当初から必要な経費などを主に盛り込み、投資的経費などの政策に関わる予算は6月議会で補正対応するため「骨格予算」として出されました。泉佐野市の現在の財政状況は、昨年に固定資産の評価替えがあり、関西国際空港関連の固定資産税の大幅な減少

## 3月定例議会!!



し過ぎたのと、バブル崩壊後の税の減収により、基金の取り崩しも早い時期から行われていたわけでありました。しかし市長が代わって、この反省点による財政改革にも早い時期から取り組めていきます。考え方を考えますと本当に危ない自治体は、税収が少なく地方交付税に大幅に依存し、基金を取り崩しながら運営しているにもかかわらず、住民に対しては「うちは大丈夫ですよ」といった顔をしながら財政改革に取り組んでいない団体ではないかと考えるのです。(表2を参照してください)

しかし泉佐野市は早い時期から改革に取り組めたからといって、未着手の点も多く残っています。それらの結果が十分にでない内にさらなる市民の方々の痛みを伴った項目を実施していくのは「いかにできるか」とも考えます。  
今こそ泉佐野市を財政再建運用団体(自治体の倒産にあたる)に転落させないことと、市民の方々の痛みを最小限に抑えること、といったこの2つの観点の調和を図りながら、私はこの財政危機に立ち向かっていきたいと考えています。

という影響をもちに受けました。しかし従来ですと、地方自治体の税収減に対しては、減収分の75%を補填してくれる地方交付税制度があるのですが、現在、国で進行中の三位一体改革の中で地方交付税の縮小に代わる十分な税源委譲が不明確な状況ですので、予算の編成にさらに影響を及ぼしているわけでありまして、以上の理由で今回の「財政非常事態宣言」につながりました。  
泉佐野市は4年前に市長が代わって財政危機が発覚しました。そして様々な財政改革に着手してきました。そういった取り組みが順調に進み始めたところで、今回の外的要因によるさらなる財政危機に陥っているのです。

(表2) 各自治体の当初予算比較

	市 税			交 付 税			基金や他会計からの繰入金		
	16年度	15年度	増 減	16年度	15年度	増 減	16年度	15年度	増 減
泉佐野市	182億9,339万円	195億1,021万円	-12億1,681万円	4億8,500万円	0円	4億8,500万円	3億3,198万円	8億7,829万円	-5億4,631万円
岸和田市	233億 333万円	242億5,035万円	-9億4,702万円	117億円	107億円	10億円	24億 648万円	16億5,553万円	7億5,095万円
貝塚市	108億4,160万円	109億2,000万円	-7,840万円	31億6,510万円	33億円	-1億3,490万円	44億2,230万円	4億2,596万円	39億9,633万円
泉南市	88億1,944万円	93億1,748万円	-4億9,804万円	17億2,000万円	14億5,000万円	2億7,000万円	11億5,467万円	10億9,801万円	5,666万円
阪南市	54億8,938万円	56億1,365万円	-1億2,427万円	32億4,000万円	33億5,800万円	-1億1,800万円	3億7,139万円	11億9,021万円	-8億1,882万円
熊取町	40億8,606万円	41億6,702万円	-8,096万円	17億7,000万円	19億円	-1億3,000万円	25億1,000万円	20億7,000万円	4億4,000万円
田尻町	27億4,972万円	28億6,012万円	-1億1,040万円	0円	0円	0円	16億7,897万円	20億8,360万円	-4億 463万円
岬 町	22億 40万円	22億2,222万円	-2,182万円	12億4,600万円	16億円	-3億5,400万円	6億7,000万円	6億8,787万円	-1,787万円

# 泉州南合併協議会

昨年12月に第1回の合併協議会が開催されてから、4ヶ月が経過いたしました。合併協議会の事務局が発行している「協議会だより」で既に市民のみならず、具体的な項目が協議されており、その中で新市の名称と庁舎の位置等を検討する小委員会が設置され、私共がその「新市名称・庁舎検討小委員会」の副委員長に就任させていただくことになりました。早

速、新市の名称を公募する時期・方法等が協議され、合併協議会上程したところ承認を得ることが出来ました。そして今回、泉州南合併協議会では、合併に対する住民の関心を高めるとともに、この地域のPRを図るため、3市2町が合併した場合に新しく誕生する「新市」にふさわしい名称を募集することになりました。たのでご報告いたします。

## 新市の名称の応募について

- ◎応募資格 近畿2府4県在住の小学生以上の方（応募は1人1点）
- ◎応募方法 官製はがき、泉州南合併協議会ホームページ内の応募フォーム、専用応募用紙（3市2町の各市役所、町役場に備え付け）、FAX
- ◎新市の名称
  - ①現在の3市2町（泉佐野市・田尻町・泉南市・阪南市・岬町）の名称の使用は不可
  - ②漢字・ひらがな・カタカナのいずれかを使用（漢字を使用する場合はふりがなが必要）
  - ③新市への思い、意味などの名称の理由を記入
  - ④住所・氏名・年齢・電話番号を記入
- ◎賞品
  - ①「名付け親大賞」（抽選で1名に10万円相当の商品券または旅行券）
  - ②「名付け親賞」（抽選で4名に1万円相当の商品券または旅行券）
- ◎応募先 大阪府泉佐野市高松北1-2-40 泉州南合併協議会  
 TEL 0724-69-6444  
 FAX 0724-69-6443  
 ホームページ <http://www.sensyu-minami.jp>  
 E-mail [gappei@sensyu-minami.jp](mailto:gappei@sensyu-minami.jp)  
 専用応募箱（各市役所、各町役場に設置）
- ◎応募期間 平成16年5月10日（月）～6月9日（水）まで（郵送の場合は、平成16年6月9日の消印まで有効）
- ◎決定方法
  - ①「新市名称・庁舎検討小委員会」において選定基準や決定方法を協議し、これを合併協議会に報告し、合併協議会において決定する。
  - ②「新市名称・庁舎検討小委員会」では、応募作品の中から新市の名称としてふさわしい候補名を5～10点程度選定し、合併協議会に報告する。

## 千代松大耕プロフィール

- 1973.10.3 泉佐野市松原生まれ
- 1986.3 泉佐野市立第一小学校卒業
- 1989.3 泉佐野市立佐野中学校卒業
- 1992.3 同志社香里高等学校卒業
- 1996.3 同志社大学経済学部卒業
- 1998.7 Lincoln University MBA 取得
- 2003.3 大阪府立大学大学院修了
- 2004 和歌山大学大学院在学中
- 1999.4 株式会社 堀場製作所 入社
- 2000.2 泉佐野市議会議員初当選
- 2002.5 泉佐野市議会議員2期目当選



〔現在〕  
 泉州南合併協議会委員  
 (社) 泉佐野青年会議所理事  
 (NPO) 大阪夢づくり協議会理事  
 泉佐野市バレーボール連盟会長  
 同志社大学体育会  
 アメリカンフットボール部OB会常任理事  
 自由民主党泉佐野支部政務調査会長

連絡先 泉佐野市松原2-5-31  
 TEL 58-1708  
 FAX 69-0311

ホームページ <http://www3.ocn.ne.jp/~chiyo51/>  
 メール [chiyoma51@hotmail.com](mailto:chiyoma51@hotmail.com)  
 発行部数累計 34,000部 2004.4第23号

\* 「まちスケ」のバックナンバーが必要な方は連絡ください。